

在校生・卒業生・保護者・教職員

# 進路通信 2016/09 後期

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

## ★統一学校説明会、盛大に開催される

8月26日の統一学校説明会は準備から後片付けまでありがとうございました。自分の意中のブース、全てを回りきることができたでしょうか。自分の疑問点を解決することができたでしょうか。来ていただいた方々のアンケート集計を見てみましょう。

### (1) 統一学校説明会に対するご感想をご記入ください。

①たいへんよい 41 ②よい 18 ③普通 2 ④よくない 0 ⑤悪い 0

- ・質問も多くあり、大変効果的な時間を過ごす事が出来ました。
- ・今年もたくさんの生徒さんとお話しができ、大変参考になりました。
- ・やる気のある学校とお話でき、とても有意義でした。
- ・高校生様が、今お悩みのこと、必要としている情報を再確認させていただくことができました。
- ・他大学さんとの接点が多いイベントで、都内での同様の会とは全く雰囲気異なります。
- ・先生・生徒さんもととても意欲的でありがたいです。
- ・生徒さん、職員の方々の爽やかな姿が目につかぶ
- ・目的を持った生徒さんが多いため、先生のご指導が良いのだと思います。

### (2) 本校生徒の態度について感じたことをご記入下さい。

①たいへんよい 41 ②よい 17 ③普通 2 ④よくない 0 ⑤悪い 0

- ・説明を熱心に聞き、質問も活発にしてくれた。
- ・話を聞く姿勢、反応もととても良かったです。
- ・礼儀正しくしっかりした生徒が多いです。
- ・熱心な姿勢で聞いてくれました。
- ・多数の生徒さんが説明を聞きに来てくださりありがとうございます。とても熱心に説明に耳を傾けている姿勢に好感が持てました。
- ・昨年対応した生徒が、アドバイスした内容を報告してくれ感心しました。事前に下調べがしっかりしており、素晴らしい質の相談内容でした。
- ・朝、挨拶をしてくれてとても態度のいい生徒だと感じました。
- ・コミュニケーション能力の高い生徒さんが多く、大変感心いたしました。
- ・受け答えのしっかりした生徒さんが多く、感心しました。
- ・みなさん非常に真剣で、熱心に質問をぶつけて下さいました。
- ・好印象です。しっかりと進路を考えている生徒さんが多かった気がします。
- ・真面目で真剣であり、道東一の名門校の歴史を感じました。日頃の先生方の御指導の賜物と存じます。
- ・自分の意見を言える生徒さんが多いと感じました。

生徒一人一人がこのイベントに一生懸命取り組んでいた姿がしっかりと向こうにも届いていたということが分かってもらえたでしょうか。このイベントは来年も必ず企画します。この伝統をこれからも継続して行って下さい。

大学などの担当者の気持ちに答えるために必要なものは何でしょうか。モチベーションはあげてもらいました。あとは生徒一人一人の「学力向上」がカギとなります。気持ちに報いることも含めてしっかりと学力向上に向けて頑張ってもらいたいと思います。

## ★特集 センター試験を考える

これから約3回にわたってセンター試験の対策について掲載します。6月に札幌で行われた駿台予備学校主催のセンター対策研究会(数・英・化・日・倫・政・現)の様態を出席した数名の先生方にレポートしていただきました。しっかりと自分の勉強に役立てて下さい。

### ■数学 高橋洋輔先生

#### 数学ⅠA

<全体>

問題構成が大幅に変化し、問題量も昨年より増加した。特に数学Ⅰの分野で、設問数が昨年の17から23に大幅に増加した。

「場合の数と確率」では条件付き確率が、「整数の性質」ではn進法が出題され、新課程で扱われるようになった内容が多く出題された。また、2次関数そのものに関する出題がされなかった。

問題難易は昨年より難化。平均点は2015年61.27点、2016年55.27点。

<大問構成>

- 第1問 (30点) (必答・数学Ⅰ)1次関数、集合と命題、2次不等式
- 第2問 (30点) (必答・数学Ⅰ)図形と計量、データの分析
- 第3問 (20点) (選択・数学A) 場合の数と確率
- 第4問 (20点) (選択・数学A) 整数の性質
- 第5問 (20点) (選択・数学A) 図形の性質

<来年のセンター試験攻略のポイント>

・各分野の基本問題を中心として出題される傾向は昨年と変わらないため、教科書レベルの基本事項をもれなく理解し、典型的の問題を中心に演習を積むことが重要である。

・受験生の苦手とする「論理と集合」の問題では、用語や論理記号を確実に理解していないと得点できないため、普段から十分な学習を積んでおきたい。また、ベン図などを用いて集合の包含関係を考えることも大切である。

・図形問題について、来年以降も引き続き数学Ⅰの「図形と計量」と数学Aの「図形の性質」は異なる大問で問われると予想される。ただし、互いの知識を用いると問題に取り組みやすくなる場合もあるため、数学Ⅰの内容、数学Aの内容と分けて考えるのではなく、図形問題を総合的にとらえる練習をしておくとよい。また、高校の教科書には載っていない中学の基本的な図形の性質も意識しながら取り組むことも必要である。

・「データの分析」では、昨年に引き続き計算が必要な問題は非常に少なく、全体として用語や公式をきちんと理解しているかどうか問われた。今後もこの傾向は続くと思われるので、まずは用語や公式を正確に用いることができるようになったうえで、グラフからデータの傾向を読み取る力などもつけておきたい。

・「整数の性質」の問題では、今年出題されたn進法のように、これまで出題されなかった項目が出題される可能性が十分にある。昨年出題された1次不定方程式の解法はもちろん、今年出題されたn進法も含めて、教科書に載っている項目の基本事項はもれなく理解しておきたい。

・今年は大問構成が大きく変化した。次年度以降も大問構成や出題内容が大きく変更する可能性がある。これまで解いたことがないような出題であったとしても、与えられた誘導の意図を考えながら正確な立式や計算ができるように、日頃から演習を積んでおきたい。

#### 数学ⅡB

<全体>

問題構成は昨年と同様。グラフの位置関係を選択させるなど、一部で目新しい出題が見られ

た。非常に難しかった昨年と比較して問題量や計算量は減少し、易化した。ただし、導入の段階からやや難しい設問を含む大問もあり、例年よりも難しい。平均点は2015年39.31点、2016年47.92点。

<大問構成>

- 第1問 (30点) (必答・数学Ⅱ)指数関数・対数関数、三角関数
- 第2問 (30点) (必答・数学Ⅱ)微分法・積分法
- 第3問 (20点) (選択・数学B) 数列
- 第4問 (20点) (選択・数学B) ベクトル
- 第5問 (20点) (選択・数学B) 確率分布と統計的な推測

<来年のセンター試験攻略のポイント>

- ・今年是新課程2年目であったが、出題範囲の大きな変更はみられなかった。今後もこの内容・形式で幅広い分野から出題されると考えられるため、数学ⅡBのそれぞれの分野の基本事項をしっかりと定着させることが重要である。
- ・まずは教科書に掲載されている定理・公式・解法をひとつおきおきしておくことが重要である。各分野の中で、幅広く出題される場合もあれば、ある項目が重点的に出題される場合もあるので、苦手な項目はなくしておくべきである。
- ・例年、解答時間に対して問題量・計算量が多いため、限られた時間の中で素早く正確に処理することが求められる。日頃から解答時間を意識した演習を積んでおくことと、複数の解法を身につけて効率よく解答する力をつけておくことが大切である。また、数値だけでなく、文字を含む計算も多いため、文字処理力も強化しておきたい。
- ・試験時間中は時間配分を考慮し、わからない箇所があればその部分にあまり時間をかけすぎず、わかるところから取りかかるようにするとよいだろう。
- ・与えられた条件や前の設問をうまく利用することを意識して、問題に取り組む必要がある。うまく誘導に従うことで、計算や処理の量を減らすことができる場合も少なくない。値を代入してどうなるかを試行錯誤することも重要である。

■英語 田中嘉寛先生

英語筆記

今年度の平均点は112点で、昨年度と比較するとわずかに難化しました。大きな変化としては第5問の長文読解問題が小説形式になったということです。

～第1問～ A発音 Bアクセント

Aの発音問題では「日本語化しているカタカナ語」の出題がそれほどなく、Bのアクセント問題でもいわゆる「アクセントのルール」で解けるものがそれほど多くありませんでした。結局は単語を覚える時に、その都度正しい音を自分の頭（耳や口）に叩き込むという地道な努力が得点への最短距離なのでしょう。

～第2問～ A文法・語法・語彙・慣用表現 B語句整序 C語句組み合わせ

正確な文法語法などの知識が問われる問題です。具体例を挙げます。「～にも関わらず」という意味の語を選ぶ問題です。Althoughという語を選ぶべきなのにDespiteという誤答が多く見られました。空欄の後にSVが続くのだから前置詞ではなく接続詞を選択しなければなりません、日本語の意味だけ覚えて満足している人にとっては難問になりました。次にused toとbe used toの違いも難しかったようです。前者は原形動詞が後に続き、後者には名詞（動名詞）が続くのですよね。どちらの例をとっても単語（熟語）の意味にだけ焦点をあてている学習法が問題です。正しい使い方を理解して、例文を覚える。自分で使ってみて定着させる。このようなやり方が求められます。

～第3問～ A会話文 B不要文指摘 C発言要約

B問題では、日本語で考えると一見よさそうだけど英語では認められないテーマの「ズレ」を見抜く問題がありました。抽象から具体へという英語の基本的ルールを体で覚えているこ

とも大切です。できるだけ多くの英語の文章を読む重要性が感じられます。C問題ではパラグラフの要旨を簡潔にまとめる能力が問われます。普段からOne Paragraph One Messageの原則を意識した読み方がここで生きてきますね。

～第4問～ Aグラフつき英文解釈 B広告文

必要な情報を素早く見つけられる能力が問われます。Aの文章はそれほど難しくはありません。棒グラフのデータと英文を正しく読み取りさえすれば答えは導き出せます。Bは「これって英語の問題なの？」という感じです。時間さえあれば全員満点をとれるはず。では何故そうならないのか？英語を処理するスピードが遅いからです。日常から処理速度を上げるように心がけましょう。

～第5問～ 小説 長文読解問題

2015年の追試と同じく小説になりました。センター本試験では数年ぶりの復帰です。小説を読む時は①登場人物と②場面をしっかりと抑えるのが基本です。約700語という長い文章なので英語そのものに慣れていない人にはきついでしょう。

～第6問～ 論説系 長文読解問題

約550語の長文です。配点は36点。第5問は30点なので、合わせて66点です。大きいですね。どちらの問題にも共通することは「同じ内容を違う英語で表現している」のを見抜く力です。「つまり何が書かれているのか」を見抜く力と言ってもよいかもしれません。普段から英語を英語のまま理解して、英語で考える。そのようなことがとても重要です。先に述べたOne Paragraph One Messageの原則も忘れてはいけません。

英語リスニング

2006年の試行テストからずっと変化のなかった問題構成が初めて変更されました。第3問Bではチャシ・予定表が与えられ、それを見ながら行われる対話を聞く問題になりました。第4問Bは3人の会話（討論形式）が初めて登場しました。昨年と比べてやや音声速度が上がりました。全体としてはWPMが152語/分となり、ほぼ一昨年のスピードまで戻りました。WPMとは1分間で何語話されるかというスピードです。書かれた英文を黙読するときはこのスピードで読める高校生はほとんどいませんね。リスニングはやはり地道なトレーニングが欠かせません。どんどん音声が続くのですから聞き取れなかった部分に拘るのは致命的です。長文読解問題で未知の単語に振り回されるのと同じですね。いずれにしても問題形式が少しくらい変化しても恐れることなどはありません。リスニングは努力すれば必ず伸びます。

しかし努力しているのだけでも、なかなか聞き取れない人がいます。理由は何でしょう。何点かあげましょう。①「知らない内容・予期せぬ内容」は聞きづらい。これは設問や選択肢から内容を予測する習慣を身につけることで改善されるはずです。②英語の音声（連音化・音の消滅など）への慣れの不足。これはリスニング練習時に必ずスクリプトを確認することで解決できます。自分で納得してから再度聞く、そして可能なら音読練習までつなげると更に効果的です。③語彙力・熟語力・定型表現の知識不足。これはもう頑張るだけです。できるだけ正しい発音とともに身につけましょう。④英文理解のスピード不足。これは慣れるしかありません。普段から意識して努力を重ねましょう。平易な英文を用いた速読練習も効果的です。英語は慣れです。特にリスニングは。やれば出来るようになります。絶対に。

最後に

授業でやっていること、講習でやっていること、小テストや週末課題でやっていることなどをイメージしてください。センター試験で高得点を狙うために必要なことばかりです。それら一つ一つを確実に、丁寧に、真剣にこなしましょう。英語は短期間では伸びません。少なくとも数ヶ月かかります。でも努力は必ず報われます。必ず安定した得点を期待できる得意科目になります。受験は英語で決まります。頑張りましょう。